

3L通信

ルクス・ムンディ  
～世の光～

# Lux Mundi

2011.1 Vol. 12

Life  
Light  
Love

特集

TG  
INTERVIEW

不忘山行持院 住職

眞壁 太隆

宮城県教育庁 教育次長

高橋 仁



エミリオ・グレコ作「夏の思い出」

16万人が繋ぐ、  
TG  
コミュニケーション

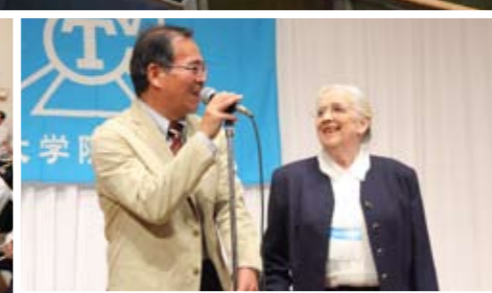
Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報



# ホームカミングデーを開催しました。

昨年秋、第十二回東北学院大学ホームカミングデーを開催しました。懐かしい旧友に出会い学生時代を思い出す同窓生同士、多くの輪が広がりました。学生時代の思い出が鮮やかに蘇るホームカミングデーは今年も10月15日(土)に開催いたします。皆様お誘い合わせて是非ご参加ください。



表題 ～ Lux Mundi (世の光)～  
「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。

## C O N T E N T S

- P 01 ホームカミングデー(第11回同窓祭) 報告
- P 02 東北学院の将来展望～地の塩、世の光として～…東北学院理事長 平河内 健治
- P 04 特集 TGインタビュー…不忘山行持院 住職 眞壁 太隆
- P 08 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～
- P 10 懐かしい風 新しい出会い ～同窓生のお店を訪ねて～
- P 12 3Lセミナー「ロボット技術が普及する未来」…工学部准教授 熊谷 正朗
- P 13 健康と医療「うつ病の予防について」…かさはらクリニック院長 笠原 英樹
- P 14 クローズアップ「秋の園遊会に招待されて」…総務担当常任理事兼広報部長 宮城 光信
- P 15 TG Gallery…Artist 古山 拓
- P 16 特別寄稿 「地域力の創造と再生」…多賀城市長 菊地 健次郎
- P 18 特集 TGインタビュー…宮城県教育庁教育次長 高橋 仁
- P 20 この人この顔
- P 21 北から南から Around Japan
- 巻末 INFORMATION、他



定禅寺ストリートジャズフェスティバル

表紙写真/25回目を迎えた2010 SENDAI光のページェント。  
55万個のLED電球が使用され、12月3日(金)から31日(金)まで冬の仙台を彩った。

# 東北学院の 将来展望

## 地の塩、世の光として

本誌第7巻(2008年7月)所載「インタビュー」で、東北学院の使命について問われ、「地の塩」「世の光」となれる人材を養成するに尽きます。必ずしも技術や技芸の面で貢献する人材育成を意味するのではなく、真の教育には

精神と聖なる美しさのなかに清らかな人格を形成する目標もあります。…この使命を代々伝えてゆくのも使命だと思っています」と答えています。この中の「精神と聖なる美しさ」の箇所は、東北学院が神学のみならず科学尊重と美的感受性の養成などの教養教育とキリスト教人格教育を授ける普通教育学校に拡大した明治24(1891)年の翌

年の開院式での初代副院長ウイリアム・ホーイの式辞からの引用であります(『東北学院百年史』305～307頁参照)。

英文では the formation of pure character in the spirit and beauty of holiness となっており、「聖なる魂と聖なる美しさにある清らかな人格の形成」というのが逐語的な解釈かと思えます。背景には、神は万物を造り、それを良しとし、神はご自分にかたどり、神に似せて人をも造ったという「創世記」の天地万物の創造の物語があります。天地万物は神の「贈与」であります。しかし、人間の神になろうとする罪から楽園を追放され、

そこからの救いのために主イエス・キリストのご降誕の「贈与」があり、これら二重の無償の一方的な「贈与」という神の愛に感謝し、愛のご恩返しする能力を用いることが生きがいとなり、自己実現を最大限に発揮することにもなります。

この純真(Pure)なる能力は「地の塩」「世の光」として無条件ですでに与えられており、それを不純な賢しらや我欲で汚し曇らすことなく練磨することが人生の目的であるとイエスは福音書の中で述べています(マタイ5:13～16参照)。しかし、イエス自身が世の光であるとも述べます(ヨハネ8:12)。地球や月が太陽の光に照らされて光るように、私た

ちの世の光としての働きはキリストに照らされ、イエスの生涯を手本として、キリストと共に生きることによって愛による生き方が可能になります。そこには聖と俗の分節化と「純一なる一如」という関係が生まれます。このように生きる姿勢が家庭、学校、職場、地域、国家、国際社会にあつて、自分と他者を尊重し、自分と同じく隣人を愛する心を通わせコミュニケーションし、共に価値を創造する人類の福祉に貢献する生き方であり、建学の精神の具現化であります。

東北学院はこのような建学の精神を継承し、本年創立125周年を迎えます。これからの最大の具体的課題は、東北大学片平校地南地区の土地取得と大学キャンパス統合計画の立案と実現化であります。土地取得を前提に、理事会内に設定した大学キャンパス基本構想委員会、基本となるキャンパス・コンセプトを検討しています。少なくとも、

キャンパスによって分断された学部、2年生の教養教育と3、4年生の専門教育、そして課外活動を同一キャンパスで実行可能となり、異なる学部学科の先輩後輩の学術・文化面と人的面での学び合いをより豊かにすることが期待されます。キャンパス北面が市中心街に隣接し、南面が山と川の自然と接する立地条件をもつキャンパスは都会の価値観と田舎の価値観の両者を併せ持つ両性具有的な性格をもち、学生には一つの

価値観に拘束されない自由な発想を許し、これを地域の防災や地域住民の憩いや学術成果の伝承のための広場として開放することによって、外国人を含む地域住民との連携と新しい発想による学術・芸術・文化の創造が期待されます。

第二の課題は、全学的な検討と同意によって本年4月に開設する文学部総合人文学科を継続的に発展させることでもあります。唯一のキリスト者集団学科なので、その成否は法人全体の信頼に関わります。上記ホーイのビジョン具現化の現代的な意義を担っています。真の「生きる力」を養成する法人全体の要の働きを期待しているところであります。

第三の課題は法人全体の教育環境の共有であります。中高大一貫教育や高大接続教育、学校間人事交流や協働企画から教育資源を分かち合うことによつて、教育上の相乗効果が期待できます。幼稚園を例にとれば、大学宗教主任が幼稚園の礼拝行事に協力し、幼稚園英語活動に英文学科スタッフと学生を派遣していただき、工学部の礼拝堂、体育館、運動場、食堂をPTA活動や園行事に利用させていただいております。中高の寮では園児の粘土作品を焼いていただき、多賀城文化センターで毎年造形展を開き成果を発表しています。

その他に、情報公開規程の策定があります。規程に則り学内情報を学内外に開示し、自分と他者との関わりを確



学校法人東北学院 理事長

## 平河内 健治

昭和38年文経学部英文学科卒 中・高・大



### profile 平河内 健治 (ひらこうち けんじ)

1939年宮城県塩竈市生まれ。  
東北学院中学校・高等学校、東北学院大学文経学部英文学科卒業。国際基督教大学(ICU)大学院で教育学修士号(英語教育)、カルフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学院で修士号、博士号(言語学)取得。東北学院大学教授、文学部英文学科長、文学部長、東北学院常任理事(人事担当)を歴任。学校法人東北学院理事長2期目。財団法人日本カウンセリング・センター理事長。

Tairyu Makabe



檀家もなく、墓もない。そして葬式も行わない寺がある。「死んだらよその寺に行ってください。生きていらっしゃる方に来て下さい」という寺が宮城県亘理町逢隈にある。不忘山行持院（ふもつさんぎょつじいん）住職・眞壁太隆（まかべ たいりゅう／本名：太郎）さんは、会計事務所の勤務を経て出家し曹洞宗（そうとうしゅう）の僧侶になった。非正規労働者が契約を打ち切られるケースが急増するなか、眞壁さんは行く当てのない人を無条件で受け入れている。職や住まいを失った人たち、あるいは家庭崩壊又は苦悩の渦中にいる人たちの自立を支援している眞壁さんに、「駆け込み寺」の住職として何を施しているのか伺った。

不忘山行持院 住職

眞壁 太隆

昭和47年経済学部経済学科卒 榴・大

（インタビュー構成は小原武久校友課長補佐）

僧侶になろうと思った動機からお伺いします

**眞壁** 大学を卒業して会計事務所勤務に勤務していましたが、ふとこれでいいんだろうかと頭をよぎったんです。35歳の頃でした。それが何なのか分からないんですが、いろんなことをしているうちに仏教書を読み始めたんです。ところが、仏教書を読めば読むほど分からないので、東京国際仏教塾で幅広く知識を学ぶことにしました。3年間ほど指導僧について勉強しました。そして、布教

史を勉強していたとき、お釈迦様が法を説かれてから約2500年が経過した今でも仏法に巡り会いにくい人たちがいることに気付いたんです。その人たちは、聴覚に障害を持つろうあ者と言われる人たちです。伝達手段の違いもあり、布教ができていない存在でした。この人たちにはどのような仏教が伝達されているかは分かりませんが、同じく生を受けて、ごく少ない情報のなか錯覚のまま終わらせてしまうのでは申し訳ないと思いました。至らない自分ではありますが、出家して生涯ろうあ者に正伝する

との誓願を起し、正精進することで救われた私ができるお釈迦様への報恩感謝の証と思っています。

僧侶になるための修行は大変厳しかったと思います

**眞壁** 安居（あんご）は横浜市の西有寺（さいゆうじ）専門僧堂で行いました。平成9年4月から10年9月まで約1年半ですが、私は「新到（しんとう）」って言うんですが、入ったばかりの新米ですね。毎朝3時に起

不忘山行持院を建立した理由と寺名の由来をご紹介します

きて、4時から始まる準備をします。毎日です。本山と全く同じで、決められた時間に同じ修行をする。一番驚いたのは専門僧堂は封建制度で統率され、まるつきり別世界でした。上からの指示命令には絶対服従。これまでの常識は全然通用しない社会でした。いわゆる「一挙手一投足が上からの指示で動いている。ですから、自分を捨てて修行に入らなければ、到底その修行を通り抜けることはできなかった。私がこの修行に入ったときは48歳でしたから、息子よりも若い先輩方にとやされ続けていました。何度か挫折しそうになりましたが、出家の動機に助けられ送行（そうあん）することができました。

僧名に込められた意味を教えてください

**眞壁** 私の僧名は太隆と言います。師匠の静岡県伊豆市修善寺にある真照院（しんしょういん）の佐藤勝道（さとうしゅうどう）（老師が安名（あんみやう）をつけて下さいました。僧名も戒名と同じように自分の名前の一字を採ってつけるんです。老師は私に仏法を広く興し、布教に努めなさいと期待を込めて名づけていただいたと思います。号は眞應（しんのう）と言います。

ここからいただきました。

「生きている人の寺」として住職が行っていることは何ですか

**眞壁** 師匠から本尊の釈迦如来座像を賜りましたので、平成15年1月に古民家を購入し、新寺建立を目指して修繕や改装して布教と布施行ができる寺院として体裁を整えました。未完成ではありますが、平成19年夏頃には使用できるようになりました。寺名の由来ですが、不忘山は山号と言います。場所を表します。不忘念という仏教用語がありまして、教えは決して忘れませんという意味です。寺名は行持院と言います。曹洞宗を開祖された道元禪師が書いた「正法眼蔵（しょうぼうげんぞう）」に「行持の巻」があります。お釈迦様の説いた人間の生き方を堅く守りながら修行を積むという内容です。

**眞壁** お寺は一般的に葬式や法事などを行うところですが、うちではむしろ生きている人を相手にサービスを行っています。お釈迦様は生と死の間の生き方を教えました。ですから、私は目の前で苦悩している人たちの救いに当たっています。つまり、この人たちに お釈迦様の知恵をお伝えしています。具体的に言うと、行持院はいつでもどなたでもお迎えしています。ここはお釈迦様の教えを習うところです。過ぎたことはもういいんです。大事なのは今日と明日をどう生きるかなんです。お困りの方からは、宿泊と食事代はい





りません。分けあいますから。自分一人じゃ生きていけませんので、皆が慈悲に働き、生命の活力を高め、幸福で平和な菩薩の生涯になつてほしいと願っています。

**行く当てもない人を無条件で受け入れていきますね**

**眞壁** とにかく人の役に立ちたい。ただそれだけです。最初のころ想定していたのは、外国人の労働者が失業して路頭に迷ったときに救済しようと思ったんです。ところが、外国人は一人も来ませんでした。

そうしているうちに、平成20年9月にアメリカでリーマン・ショックが起き、東京に派遣村ができて大騒ぎになりました。そして非正規労働者の大量失業者が出て、社会問題にもなりました。それを知って、翌年1月

に河北新報に私のところで受け入れる設備があるから新聞にちよつとでいいから載せてくれませんかとお願したら大きく取り上げてくれました。そしたら、その翌日から行持院を訪ねて来る人が多くなり、結局1ヶ月で25名が入居したんです。困った方を目の前にして、少しでもいいから役に立ちたかつたんです。私は入居者に事情は聞きません。信頼するほかないんです。職や家を失った人を無条件で受け入れることは、私にとつては布施行で、お釈迦様の教えに従つただけなんです。実は榴ヶ岡高校で学んだ3年間の礼拝で「地の塩」「世の光」の言葉に出会つたことが私をそうさせていると思つています。

**現在入居されている人数とここを巣立った方は何人ですか**

うあ者の生活向上に繋げていきたいと思つています。そのためにも日本語と英語の両方の手話が学べる学校を設立したいと思つているんです。

**母校に2年2ヶ月間、毎日1万円を寄付されたそうですが**

**眞壁** 同級生が榴ヶ岡高校の校長に就任したお祝いの気持ちもありました。それと、私は父母を早くに亡くしましたので、祖父母が田畑を切り売りして私を高校と大学に進学させてくれました。そして、高校では授業料滞納の常連で、大学でも2度ほど除籍されかけた経験があります。勉強したくてもお父さんが急にリストラに

**眞壁** 今朝一人が仙台市太白区に自立しましたから現在12名が入居しています。私は生年月日も聞きませんからよく分かりませんが、30代半ばぐらいから60代半ばぐらいまでいます。そのうち女性が3名で、男性が9名です。そして、これまでここを巣立って自立した人は84名います。この巣立った人たちの中には、仕事が見つかり自活している人、あるいは生活保護を受けながら仕事を探している人など様々ですが、まず健康で希望を持って生きて下さいというのが私の願いであり祈りです。どんなことがあつても生きる希望ですね。

**住職と入居者は毎日どのような過ごされているんですか**

**眞壁** 今日は撮影があると聞いていたので袈裟を着ましたが、普段は作業服を着ています。私は午前10時頃から午後2時頃まで毎日ここにいます。そして、仏さんに線香をあげてご挨拶をします。行持院には私の師匠の徒弟2人が在住しており、毎朝6時と毎夕5時からお勤めを行っています。また、同じ時刻に入居者が当番制で梵鐘を突いています。朝の梵鐘が近隣者の起床の合図にもなっています。私は入居者が梵鐘を突くことをとても大事にしているんで

遭つて、あるいは会社が倒産して授業料が払えない生徒もいるんじゃないかと思つて寄付することにしたんです。校長から私の寄付金で後輩一人が卒業できたと報告を受けたときは嬉しくて涙がこぼれました。毎日1万円を2年2ヶ月にわたり寄付しました。

今こうして行持院の僧侶としていられるのも高校時代にキリスト教に接し、礼拝での説教は親父の小言として聞いていたことが大きいと思います。私はたまたま曹洞宗の僧侶になりましたが、先ほど言った「正法眼蔵」はまさにキリスト教のバイブルなんです。私の辛い過去が私をここまで成長させてくれました。常に感謝の心を持つて歩みたいものです。

費で賄っています。

**将来の夢は何ですか**

**眞壁** 今、私は手話を勉強しています。日本語の手話だけでなくASL(American Sign Language)も勉強しています。先ほどの僧侶になつたこととも関連しますが、私はろうあ者に仏教を布教するために出家しましたので、お釈迦様の教えを伝え、ろ



眞壁 太隆 (まかべ たいりゅう) 不空山行持院 住職



## ヴォイスアーティスト 伊藤 富士子

平成3年経済学部経済学科卒

「小さい頃は声が小さくて、教科書を読むのが大の苦手でした。ですから、人前で喋ることなんてとても考えられませんでした」と伊藤富士子さんは意外にも少女時代は声に劣等感を抱いていた。高校時代にテレビCMから流れた声に心を奪われた伊藤さんは、大学を卒業して「証券会社に就職するが、「声で人に幸せや希望、勇気そして安らぎを届けられたら本望」と声の仕事への転職を決心。上京

して音声学者の磯貝靖洋氏に師事し、本格的に「声」を学んだ。言葉々を学ぶ。そして、1999年にはニューヨーク在住のジャズトランペッターの大野俊三氏の「音」に出会った。伊藤さんは「魂が震えました。まさに芸術でした。私も声という楽器で人に感動を与えられるようになりたい」と思い、ヴォイスアーティストとして生かせることを選択しました」と話す。

伊藤さんは、ミヤギテレビ「みやぎ情報クルーズ ミュージック」をはじめCMやプラネタリウムなどで声優やナレーションを務めるほか、仙台市こども宇宙館の「ほしぞら朗読会」なども手がけた。現在、Date fm「ニュース&ウェザー」やラジオ3「ラジオ朗読ワールド」など多くの番組に出演している。また、伊藤さんは2003年から毎月第三水曜日に「朗読ワールド」を主宰し、「声に出してみませんか。目で読んで感動した文章を声に出します」と誰もが持つ「声」の魅力を伝え続けている。「会話の声も挨拶の声も、声にはその人の人柄なども表れると思うんです」と語る伊藤さんは、「やはり良い人生を重ねていくことが大事ですね」と柔和でチャーミングな声で微笑む。



## PROGRESS 世代を超えたTGの輪

# 躍動する 同窓生

シリーズ 12

声を通して  
多くの方々に  
感動を贈りたい。  
人として  
在るために  
心と体を磨く。

中学2年生の時にバレーボール部に所属していた長田賢一さんは、本屋で極真空手の生みの親・大山倍達の半生を綴った『けんか空手』を胸を躍らせながら立ち読みし、休止していた空手を再開した。長田さんは「父が柔道をやっていたこともあって、僕に武道を通して礼儀作法を身に付けさせ、健全に育つてほしいと小学生から空手を始めました。『けんか空手』に偶然出会い、空手で地上最強の人間になつて大山先生が標榜している日本の武道や日本の心を体現するよ

うな人間になりたい」と思い、大空道塾に入門した。

大山倍達に「親指と人差し指だけで逆立ちができれば世界最強の人間になれる」と言われ、その言葉

を信じて稽古に励んだ長田さんは、4ヶ月後にはたった4本の指だけで逆立ちができるようになった。大空道塾の北斗旗空手道選手権大会無差別級を何度も制し、不動のエースとして君臨していた長田さんは、またK1(ケイワン)がなかった1987年に世界最強の人間を賭けて臨んだムエタイのウェルター級チャンピオンラクチャートとの試合が忘れられない。「1ラウンドでダウンを奪ったんですが、結局2ラウンドでKO負けしました。しかし、その試合が誰が地上最強だとか、どちらが強いと言う事ではなく、武道が自分を高めるためのもので、試合以上に一瞬、瞬24時間が真剣勝負であり稽古であると思えるスタートラインとなりました。」と長田さんは振り返る。



現在、大空道塾・長田道場の師範として後輩の指導に当たりながら、長田さんはNPO法人武心学舎(ぶじんがくしゃ)を設立し、空手を通して子どもたちの健全育成に取り組んでいる。また、長田さんは福祉

## 全日本空道連盟大道塾 長田道場師範

## 長田 賢一

平成元年経済学部経済学科卒

国家として名高いスウェーデンに何度も足を運び、障がい者の武道がどのようにリハビリに役立っているのか視察を行い、日本でも障がい者が武道に親しめるよう環境づくりに努めている。障がい者も健常者も共に学びあえる社会が大切と力説する長田さんは、「将来を担う子どもたちに相手を思いやる気持ちや人との繋がりを謙虚に感じてもらいたい」と2006年から、障がい者武

道セミナーを主宰している。障がい者と二緒に武道を行うことが相互理解に繋がると話す長田さんは、武道が支えあう社会づくりに貢献できることを望んでいる。「道場は汗を流して稽古するところですが、武心学舎は心の在り方を学び合うところですよ」と話す長田さんは、今後も人に役立つ人間を育成するた

め道場師範と武心学舎理事長の二足の草鞋を履く日々が続く。

## Ken-ichi Osada





## はらこめしの里 菊地屋旅館

Kikuchiya Ryokan

受け継がれる  
郷土文化と  
家庭のぬくもりが  
感じられる宿。

# 懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて…

12

かつて巨理伊達家の狩場だった鳥の海は、渡り鳥や海鳥などの生息地になっていること由来しその地名になった。明治25年創業の菊地屋旅館は、マリネリジャーが楽しめる鳥の海、荒浜漁港近くにある。4代目の菊地正博さんは、「リピーターのお客様も多く、家族的な雰囲気をお持て成し立てて頂いています」と温厚な人柄がにじみ出る。四季折々の海の幸が食卓に並び菊地屋旅館は、江戸時代から巨理町荒浜に伝わる郷土料理「はらこめし」を今も受け継ぐ。菊地さんは、「はらこ（イクラ）を生そのままではなく、鮭の煮汁で半熟に煮る昔ながらの製法にあくまでもこだわる。」

岩木山の麓で  
たいせつに育てあげた  
りんごに込める  
ゆるぎない愛情。

先々代の工藤長次郎が1929（昭和4）年にりんごの移出業（問屋）を設立したのが始まりのハートフルギフトりんごやは、贈答用高級りんごの他に青森県産の青果卸を営む。津軽富士と呼ばれる岩木山の麓で大事に育まれたりんごを商うハートフルギフトりんごや専務取締役の鈴木規代さんは「確かな目で厳選した本当に美味しいりんごだけをお届けしています。箱を開けたら感動と愛情が伝わるように、一つひとつりんごを丁寧に配置しています」と笑顔で話す。一日に一個のりんごは医者や遠ざける、と西欧の諺にもあるほど、りんごは栄養価が高い果実として食されてきた。健康維持のために、一日に一個のりんごをぜひ続けていきたい。

## ハートフルギフトりんごや

Heartful Gift Ringoya



### 菊地屋旅館

〒989-2311  
巨理郡巨理町荒浜字御狩屋159-111  
☎ 0223-35-2402  
Fax 0223-35-2023  
客室:8室  
チェックイン 16:00～  
チェックアウト 10:00  
基本料金 一泊二食付き 7,350円～



昭和44年経済学部経済学科卒 中高大

館主 菊地 正博



### ハートフルギフト りんごや

〒036-8093  
弘前市城東中央三丁目8-9  
☎&Fax 0172-28-0910  
営業時間 / 9:00～18:00  
定休日 / 日曜日及び元旦  
URL <http://www.aomori-ringoya.jp/>  
E-mail [info@aomori-ringoya.jp](mailto:info@aomori-ringoya.jp)



平成元年文学部史学科卒

専務取締役 鈴木 規代のりお

# 3L セミナー

## 「ロボット技術が普及する未来」

工学部准教授  
熊谷 正朗

ロボットと聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？ロボットという言葉はご存じだと思いますし、昔から小説や漫画、アニメ、映画などで様々なロボット像が描かれてきました。また、最近では実際に開発されたロボットをテレビで目にする機会も増えました。しかし、漠然とは思い浮かんでも「ロボットと、ロボットではないもの」の区別ははっきりしないと思います。

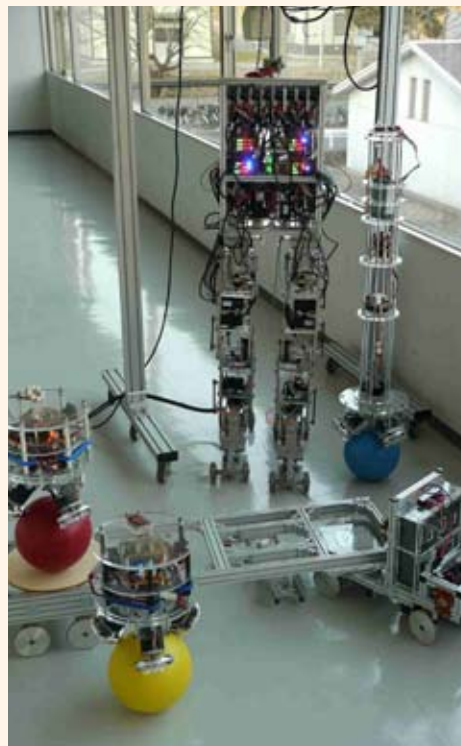
実は研究者の間でも解釈が様々あり、明確な定義はありません。人の形をしておらず、手足もないような、たとえば車輪で走って自動的に物を運ぶようなものでもロボットと認知されています。一般に「コンピュータ制御された高度な機械」であることは確かですが、その中で「ロボットと称したもの」がロボットであると言っても過言ではありません。

さて、このロボット(らしきもの)が研究、実用化されてきた過程で、多くの技術が開発されてきました。メカをエレクトロニクスでコンピュータ制御するメカトロニクスは、近年の機械では当然の技術です。ロボットの目を作るべく発展した画像処理技術は、デジタルカメラの自動調整や監視カメラ装置、工場での製品検査や農作物の品質確認などに応用されています。自動車の自動運転はまだ研究段階で市販されていませんが、そのための認識判断技術は運転補助機能として高級車に搭載されつつあります。

このように、まだロボットを日常的に見かけなくとも、ロボット関連の技術はすでに身の回りに溢れ始めています。研究者が考える未来像の一つは、いわゆるロボットではなく、ロボットテクノロジー＝RTが生

活を豊かにする社会です。たとえば、家事できる人型お手伝いロボットを100万円で購入のではなく、10万円高くなる程度で電子レンジに自動調理器機能を追加、プラス20万円で自動車自動運転に、プラス10万円で洗濯機が服を畳んでくれる…と万能の一台ではなく、必要なロボット技術でそれぞれを便利にという方向です。そのほうが

安く、信頼性が高く実現でき、しかも全部同時に使えます。と言いつつも、私の研究室では玉乗りロボットを始め、何の役に立つかわからないロボットばかり作っています。直接の貢献ではありませんが、ロボット技術を知る若者の育成を通して、未来を作るお手伝いをできればと思います。



本学院は永年積み重ねてきた知的財産で地域社会に貢献してまいります。

デンタル  
TG会

# 健康と医療

T.G. Medical Network  
12  
Medical Column  
ドクターTG会

かさほらクリニック院長

笠原 英樹

昭和51年榴ヶ岡高等学校卒

## うつ病の予防について

寒さを感じるこの時期、インフルエンザが流行る季節です。他方、巷ではもうひとつの風邪、心の風邪も増えています。4人に1人が心の風邪にかかっているといわれ、心の風邪の代表がうつ病なのです。では、心の風邪、うつ病がどうしてこれほど増えているのでしょうか。それは、ストレスが大きな原因だからです。過重なストレスがかかると、脳が疲労し脳の働きが回復せず、うつ病が引き起こされるのです。このように理解すると、ストレス社会と言われている今日、心の風邪が流行りはじめている訳が分かるような気がしませんか。

さて、心に寒さを感じる日々、インフルエンザと同様に心の風邪にも予防を心がけることが大切です。日常、蔓延している心の疲

労の源であるストレスからいかに身を守るかが予防につながるのです。そのためには、まずストレスという重い荷物を抱えすぎないこと、余裕を持つて仕事をし、頼まれ事があつても時には躊躇せず断ることです。明日できることは明日でもいと思う心がけも必要です。もうひとつは、抱えている重いストレスを出来るだけ軽く感じるようにすることです。とても辛く嫌なことがあつても、なんとかなさりと、少しでも楽になるような考え方を試みることです。

ただ、こうして重い荷物を軽くしても、たえず荷物を持ち続けていると、たえず疲れがきます。一息入れ、気分転換や休養をこまめに取らましよう。そして、睡眠を多く取ることです。脳の疲労を回復させるには睡眠がとても大切で、睡眠

時間が5時間を切ると、極端にうつ病が増えるという報告もあるのです。

実は、心の風邪の予防にとってもうひとつ大切なことがあります。それは、周りの人の対応です。身近に風邪をひいている人がいたとき、「無理しなくてもいいよ」と優しい目をむけるでしょう。一方、気がふさいでいる人に対してはどうでしょうか。心が弱いと思われ、「しっかりしろ」と、ついついきつい言葉をかけがちになるのではないのでしょうか。そうすると、自責感が生じ疲労が進み、心の風邪は悪化してしまいます。だからそのようなときには、心の疲れを察し、無理をするなど、少しでも負担を軽くするような配慮があれば、ほつと楽な気持ちにもなれ、心の風邪も軽く済むのです。このよう

な対応が心の風邪の予防にとってはとても大切だということを理解してほしいと思います。

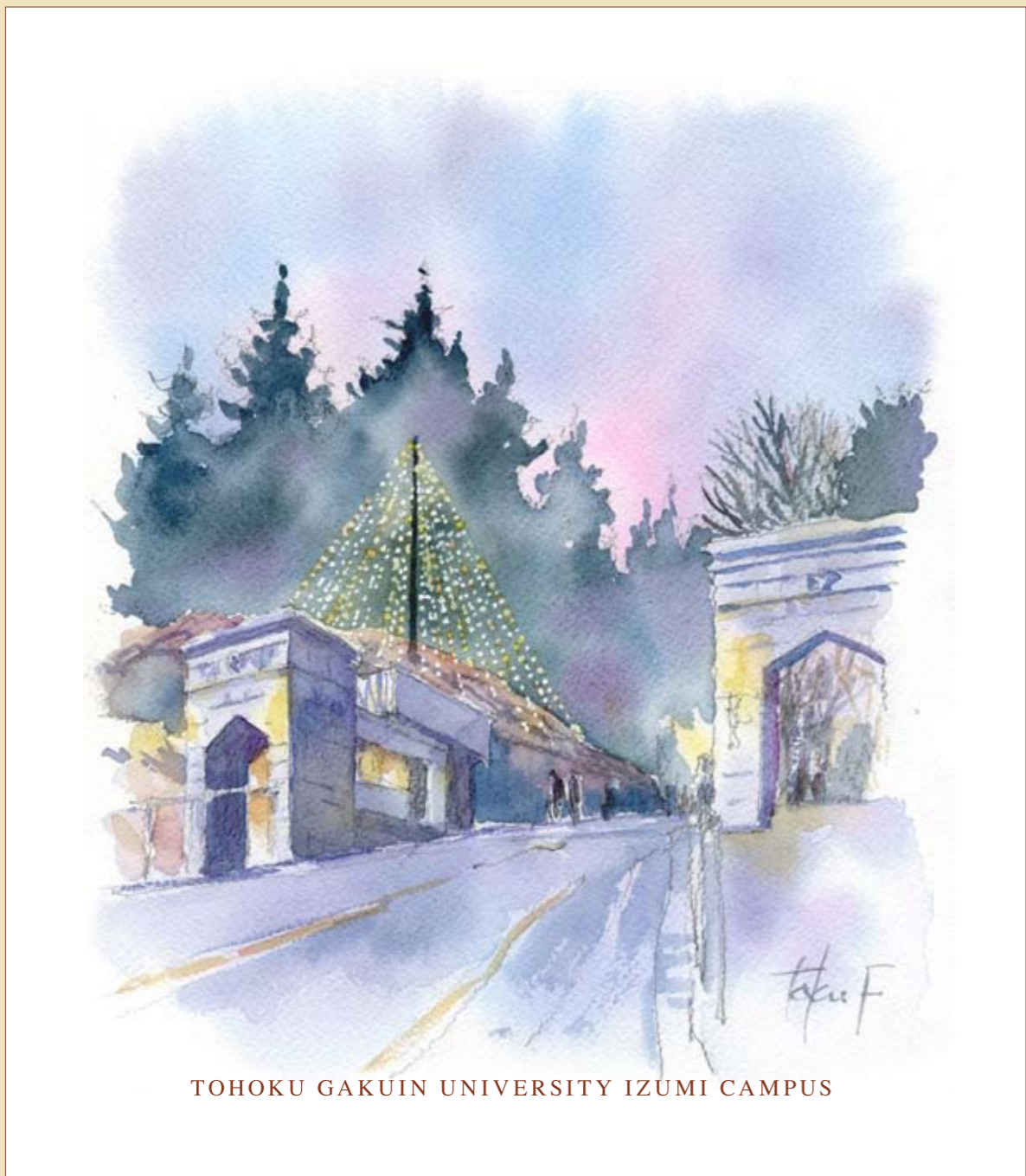
心の風邪うつ病は、今や誰でも罹り得る病気です。でも、決して予防できない、治らない病気ではないのです。風邪と同じく、早期予防、早期治療に心がけてください。



笠原英樹(かさほら ひでき)プロフィール

榴ヶ岡高等学校を卒業後16回生、秋田大学医学部卒業。坂総合病院にて救急医学、内科、外科などを研修した後、東北大学医学部精神科教室入局。国見台病院勤務を経て平成11年5月長町にて「かさほらクリニック」を開業。現在、宮城県保険医協会理事、仙台市教育委員会教職員課嘱託医、仙台市太白区保健福祉センター嘱託医。





TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY IZUMI CAMPUS

Artist 古山 拓 Taku Furuyama 昭和61年 文学部史学科卒

1962年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、1994年からフリーランスとして仙台で活動。アトリエ名/ランズエンド。洋画家杉浦朝雄氏に師事。  
 ●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)日本水彩画会支部宮城水彩画会会員 ●NHK泉文化センター講師  
 日仏現代美術博「ARTEC造形美術賞」受賞 郵政公社発行年賀状・秋田県・福島県絵柄採用等東北、東京等各地ギャラリーにて個展開催。

# Close Up



宮城 光信 (みやぎ みつのぶ)  
プロフィール

1942年北海道生まれ。東北大学大学院工学研究科修了後、東北大学勤務。東北大学工学部長、同大学院研究科長、仙台電波高専、宮城高専、仙台高専の各校長を経て、2010年4月より学校法人東北学院総務担当常任理事に就任。同年6月より広報部長を兼務。

# Close Up

クローズアップ

## 「秋の園遊会に招待されて」

学校法人 東北学院  
総務担当常任理事兼広報部長

宮城 光信

平成22(2010)年10月28日(木)に赤坂御苑で開催された秋の園遊会に光栄にもご招待され、出席しました。当日は小雨から大雨に変わりましたが、天陛下を始め皇族の方々は約1時間半にわたり、池の周りのコースをゆっくり回られました。私は有名人が始どいない、幅が1m半にも満たない通路の最前列におりました。天皇后両陛下、皇太子殿下は二人ひとりの顔を確かめられるように傾かれながら、ゆっくり通り過ぎて行かれました。私は出来ませんでした。話しかけると、すぐお応えになられておられました。大変厳粛で優雅な、落ち着いた会でありました。また、園内には幾つかのテントがあり、飲み物、食べ物が用意されていました。

園遊会は、私には全く別世界の出来事でありましたので、その意味も、行われる場所についても全くの知識ありませんでした。現天陛下が皇太子殿下の時、何かの機会での故郷の函館を訪問されたことがあります。私はその時は中学3年生で、車の中におられた皇太子殿下を垣間見たことがあります。子供の感覚でも高貴な雰囲気をお持ちの方であると感じたものです。今回、じかにお会いできたことを心から喜びました。それと同時にこのような雨の中、招待者に丁寧な対応されていることにびっくり致しました。

宮内庁のホームページによりますと、この園遊会は

毎年、春と秋の2回、赤坂御苑で催されること、天皇皇后両陛下は、衆・参両院の議長・副議長、議員、内閣総理大臣、国務大臣、最高裁判所長官、判事、その他の認証官など立法・行政・司法各機関の要人、都道府県の知事・議会議長、市町村の長、議会議長、各界功績者とそれぞれの配偶者約2000人をお招きになって親しくお話しになっておられる、とあります。そしてまた、春の園遊会には、各国の外交使節団の長以下の外交官、各国の領事館の長とその配偶者・令嬢も招待されます。

各界功績者といわれる人は、産業・文化・芸術・社会事業などの分野で功労のあった人ということですが、例年、功労のあった人は配偶者を含め、全国から750~1100人程度招待されています。河北新報に記載の私の肩書きは、「元(実際は前)仙台高専校長」ということでした。自分に功績があるとすれば、宮城高専、仙台電波高専の校長として、両校を高度化・再編し、新しい仙台高専の誕生に幾ばくか貢献したことが評価されたことによるのかもしれない。厳しい時代の中にあつて、それでもなお高専に追い風の時代の流れの中で、通常ならば当然行われる教職員・予算の削減が行われず実現した「統合」に巡り合わせ、全国高専を仙台高専の同僚とともにリードし、何とか成し遂げたことに心から感謝しているところです。

# 「地域力の創造と再生」



多賀城市長

菊地 健次郎

昭和40年榴ヶ岡高等学校卒

1999年7月に地方分権一括法が成立し、国と地方公共団体の分担すべき役割が明確化され、また地方公共団体に対する国の関与等の見直しなどが図られた。さらに、2007年4月に地方分権改革推進法が施行され、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ることを基本に、地方公共団体の自主性や自立性を高めていくことが求められるようになった。我が国では少子高齢化が進み、地方自治体の自立を目指す地域主権の改革の動きが本格化してくるなかで、実際市長としてその動きをどのように捉え、またどのように実践されようとしているのか、多賀城市の菊地健次郎市長に「地域力の創造と再生」と題して特別に寄稿してもらった。

## 地方自治への目覚め

私が(社)塩釜青年会議所の理事長を務めていた昭和61年12月20日に「プロポジション21出航」と名付けたまちづくりの提案書を発行しました。そこには誰もが豊かで希望に満ちあふれた「まちづくり」を実現するには、住民自らが政策を創り、自らが活動するこ

との重要性を謳っております。

これを塩釜青年会議所の活動区域である塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町、松島町、利府町の2市3町に提案した時には、それぞれの市町村の中から様々な苦言等も出されましたが、以後の青年会議所運動のコンセプトとなり、様々な活動のメルクマール(指標)となったような気が

いたします。例えば、塩竈市内の大規模

店舗の広告塔が景観阻害の一因であることを取り上げ、後に改善される契機となったこと、また、多賀城の歴史的情緒を活かすため「多賀城新能」を提案し、十年にわたり開催したことなどです。こうした「自分達のまちは自分達で良くしよう」の活動が、私を地方自治に関わ

らせる大きな原動力になったように思います。

## 温故知新

現在、我が国は少子高齢、人口減少社会に突入し、社会保障費は毎年急激に増加の一途をたどり、地方財政は極めて厳しい状況に置かれています。そのような状況を踏まえ、市長就任時に市役所の幹部職員を集め「出航」から引用した『鷹山公は改革の理念を火種と考え、『米沢を甦らせる為の改革の火種を増やすことが成功へと導く』を藩主の心得と示した。我々も、これからは行政改革を推し進めなければならない。その理念を自らが理解し、部下達にも伝播し、市民にもそれを敷衍していつて欲しい。』という訓示をしております。

作家の童門冬二氏は、鷹山公の心得3ヶ条「伝国の辞」について、藩は人民の合意を実行する為の機関であり、藩主も人民に奉仕するものと解説されております。まさに、現在の地方自治にも通じる哲学が示されているものと思います。

## 統治の時代から協治の時代へ

地方分権一括法が施行されてから国と地方は、一応は対等な関係になりました。それまでは、国からの委任を受けて執行する事務と、自らの判断によって執行する事務とに分けられており、国が提示す

るメニューに沿って取捨選択して仕事をしたいれば良かったことになりましたが、これからは、市民参画、市民協働の理念のもとに、地方も自らの判断と責任において針路を決定して行かなければならない時代になりました。

そこで、私は市民と直に話をするために「おぼんです懇談会」や「市長と話を気軽にちよつと茶つと」を今までに70数回開催し、多くの市民と語り合い市政への反映に努めてまいりました。

また、大学との連携協力については、星宮学長に深いご理解とご協力をいただき、東北学院大学と様々な分野での連携協力協定を平成19年11月に締結させていただきました。お陰様で、平成23年度を初年度とする「第5次多賀城市総合計画」策定では、多くの教授陣や学生の方々にご協力をいただき、延べ1千名を超える市民の参画をも得て、市民との協働による計画づくりを行うことができました。工学部を会場とした「多賀城スコール(サマースクール)」、「キャリア教育」などの教育支援事業についてもご支援をいただいております。

一方、地震、津波等の災害の際には、市内に立地している各企業や商店の皆様避難場所の提供や、物資の支援もいただく協定を締結しております。更に、主体的な市民活動を支援する「市民活動サポートセンター」を設置し、これを中心

に数多くのNPO団体等の活動も盛んになり、史跡を活かす団体や駅前に賑わいを作る団体、そして、様々な祭りを盛り立てる団体等々、市民の方々の活動の和と自治意識の高揚が図られるようになりました。

## 地域力の創造と再生

多賀城市は、国指定の特別史跡「多賀城跡附寺跡」や重要文化財の多賀城碑(壺の碑)など多くの文化遺産に恵まれており、これらが身近な存在だけにやもするとその価値を忘れがちですが、西暦724年来の歴史の重みを受け止め、それを後世に受け継いで行かなければなりません。

現在、東北で2例目となる「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に定める「歴史的風致維持向上計画」を策定しておりますが、この計画では多賀城南門(奈良の平城京といえば朱雀門)の復元を中心に据え、多賀城市民の誇りとなる整備を予定しております。

このような取り組みが大きききっかけとなり、市民が共有できる価値観が育てば、やがて「自分達のまちは自分達で良くしよう」という理念のもとに「自治基本条例」や「景観条例」の制定への道に繋がっていくものと思っております。

profile 菊地 健次郎 (きくち けんじろう)

昭和61年(社)塩釜青年会議所理事長、昭和62年多賀城市議会議員(2期)、平成7年より宮城県議会議員(3期)を経て、平成18年8月より多賀城市長。

Hitoshi Takahashi



## これからの教育の在り方を考える — 教育基本法の改正を受けて —

平成18年に約60年ぶりに教育基本法が改正された。今日、世界はまさに国際的な「知」の競争時代と言われ、優れた人材が国づくりの基盤であることから各国とも教育改革に取り組んでいる。一方で、善悪を判断できる倫理観の必要性も叫ばれており、学校教育において確かな学力と豊かな心が育まれる教育が求められている。そこで、宮城県教育庁教育次長の高橋 仁さんにこれからの教育の在り方についてお話しを伺った。

宮城県教育庁教育次長 高橋 仁

昭和55年文学部英文学科卒

(インタビュー構成は小原武久校友課長補佐)

「人づくりは国づくりの考えから、次世代を担う若者の教育をどのように推進していくべきとお考えですか」

**高橋** これからの教育を考える時には、これまでの教育がどうだったかということとを振り返る必要があると思います。戦後、教育基本法ができて新しい国づくりということでも半世紀やってきた訳ですが、その成果がこれだけの国力となって表れています。ただその一方で、これまでの教育に欠けているものもあるのではないかとという反省も出て、それらを踏ま

えて国として今後の教育の方向性を示したのが、今回の教育基本法の改正であったと考えています。

改正教育基本法は、平成18年12月に施行されました。今回の改正では、公共性をどのように身につけさせていくか、自分が社会とどう関わっていくかを新たな視点として取り入れているのが大きな特徴と言えます。また、伝統文化を尊重しながら郷土を愛する心も育み、

自分だけではなく家族や郷土を愛することも基本法に盛り込まれています。これは、戦後教育が推し進めてきた個人

を伸ばしていくという考え方に加え、自

分と社会との関係をしっかり考えさせていく視点がさらに必要だという認識に立ったものと考えています。宮城県教育委員会としてもこれまでの教育の成果をしっかりと踏まえた上で、この改正の趣旨が活かせるよう教育改革に取り組んでいくところです。

改正後の教育基本法には豊かな情操と道徳心することも明記されています

**高橋** これは教育の目標とも言えます

が、幅広い知識と教養、豊かな心という徳性、そして健やかな身体、いわゆる知・徳・体の3つをしっかり身につけさせることが大事です。学力だけが高ければ良いということではありません。まず学力を支える健康な体と健全な心があつて、その上に学力が積み重なるということでない、単に学力だけでは社会の形成に参画していくことはできないと思います。複雑化した社会構造や価値観が多様化する中にあつても、善悪をしつかりと判断できる倫理観が必要であり、豊かな情操と道徳心を培う教育がさらに求められていると実感しています。

方で、学校の中でいろんな面で子どもの力を伸ばしたい、成長させてあげたいという気持ち、これは先生方なら皆同じく持っています。だとすると、先生方だけでは全てやり切れないところを地域の人の力を借りることによって、もっと子どもの力を伸ばすことができるんじゃないかと思つています。そしてまた、地域の方に学校の教育に参加してもらつことは、信頼される学校づくりにも役立つものと思います。

教育の成果を上げるには家庭・地域社会・学校の連携が大事だと思いますが

**高橋** 近年、学校に期待される役割が大変多くなつています。昔は「躰は家でやるから学校では勉強をしつかり教えてほしい」とよく言われました。また、変なことをすると町のおじさんが怒つてくれたり、地域の人が声をかけてくれました。今は子どもが町で何か悪さをするのがあれば、学校に何とかしてくれと直ぐ通報がきます。学校に期待されている内容が多様多様になつてきていると思います。

でも、先生方はスーパーマンじゃないのでどうしても限界があります。あるいは、先生方にも得意じゃないところもある訳ですね。自分が文化部の経験しかない先生は、運動が苦手かもしれない。その一

えで国として今後の教育の方向性を示したのが、今回の教育基本法の改正であったと考えています。

今の教員の資質と熱意を  
どのように感じていますか

**高橋** 生徒が伸びるかどうかは、先生方の質、熱意と言つてもいいと思います。が、これにかかっていると考えています。ほとんどの先生方は情熱を持って教壇に立つていると思いますし、先生方の「熱」は、必ず子どもたちに伝播していきます。その意味において、子どもたちの力を伸ばし、夢や志を実現させていくためには、先生方自身の志が重要だと思つています。現在は、教職大学院や免許更新制などの制度がありますが、そういったシステムを教員の志をさらに高めることのできるようなものとしていかなければならないと思つています。先生方の資質と教育に対する熱意は、生徒や保護者からの信頼に繋がりますので、大変重要だと思つていますね。私個人としては、大学の4年間で自分なりに教員としての志

を固めさせてもらったと思つています。母校には大変感謝しています。

これからの教育はどうあるべきだと  
お考えですか

**高橋** 教育は国家百年の大計と言われますが、日本は天然資源に恵まれておらず、人材こそが資源であると思つています。人づくりが国づくりの基盤であり、高い志を持ち、知・徳・体のバランスのとれた人づくりに向けて、しっかりとした教育をしていかなければならないと考えています。

私は昭和31年生まれですが、私の10歳先輩の65歳ぐらいの皆さんから戦後の教育を受けたことになるかと思つています。考えてみると、戦前の教育を受けた70代以上の先輩方のリーダーシップのお蔭で、これまでのような繁栄があつた訳です。戦後教育が本当に試されるのはこれからだろつと思つています。戦後半世紀が過ぎて教育基本法が改正され、それを踏まえて現在国においてそして本県でも各種の教育改革を進めています。その成果はすぐには現れないと思つています。戦後教育の総決算として今の社会状況があるのだとすれば、これから創つていく10年、20年が、その次の40年、50年後の、よりよい社会に繋がっていくのだという希望をもつて、教育という最も大切な仕事に取り組んでいかなければならないと思つています。

profile 高橋 仁 (たかはし ひとし)

昭和31年名取市生まれ。昭和51年3月国立宮城高専を卒業後、昭和55年3月東北学院大学文学部英文学科卒業。同年4月宮城県立山元養護学校に赴任、宮城県利府高等学校、宮城県柴田高等学校に勤務後、平成7月4月宮城県教育庁総務課(教育政策班)主査、学務課管理主事、高校教育課(泊桜高校開設準備担当)主任主査を経て、平成13年4月宮城県泊桜高等学校教頭に就任。平成14年4月宮城県教育庁教職員課主任管理主事、同課長補佐、平成16年4月宮城県角田高等学校校長、平成19年4月宮城県教育庁高校教育課課長を経て、平成22年4月より現職。



広島支部長  
原田 仁司<sup>じんじ</sup>  
昭和47年経済学部経済学科卒 中高・大

広島支部長の原田仁司さんは、俳優石原裕次郎も愛した広島料理専門店「酔心」の代表取締役社長。東京を含め広島県内中心に13店舗を展開する傍ら、原田さんは学校法人原田学園広島酔心調理製菓専門学校の理事長も兼ねる。原田さんは「食づくりは、人づくりから。時代がどんなに移り変わっても、酔心の精神は変わりません。食は人格と生命を左右する、尊く大切な道です。食の道を通じて社会に貢献する人材を育てたい」と抱負を語る。

かつて宮城県出身者で組織する広島支部に入会した原田さんは、「同窓の仲間と仙台の思い出を語り、校歌を歌いたい」と平成13年8月18日に広島支部を設立した。設立当初の家族的雰囲気もこれも大事にしていきたいと話す原田さんは「大きな旗印を掲げ

るよりも、なるべく敷居を低くして、日本コンパクトでもいいから出席して良かったと思ってもらえるようにしていきたい」と自らムーブメーカーに徹している。広島に住んで31年目を迎える原田さんは、高校時代の恩師が第5回全国都道府県対抗男子駅伝競走（ひろしま男子駅伝）の団長として広島に来た時を切っ掛けに広島宮城県人会を立ち上げて会長に就任し、それ以来、ふるさと応援団として広島支部会員と一緒に毎年宮城県チームを応援している。また、読売巨人軍広島東北県人会会長を自称する原田さんは、同郷の星孝典選手も応援し、広島での試合の度に同窓の絆を深めている。今年も1月23日（日）に開催される第16回ひろしま男子駅伝に向けて、原田さんは応援の準備に一段と力が入る。



宮城県議会議員TG会長  
今野 隆吉<sup>たかよし</sup>  
昭和37年文経学部経済学科卒 中高・大

今年で設立32年目を迎える宮城県議会議員TG会は、現在17名の会員を擁し、党派を越えて郷土宮城県の発展のために尽力している。TG会長の今野隆吉さんは昭和58年4月に宮城県議会議員に初当選し、爾来6期県政で活躍しているが、今では議員数61名のうち最長老として責任の重大さを感じている。月浦利雄校長との出会いが人生を変えたと語る今野さんは「東北学院で学んだ。世の光、地の塩が私の政治の原点です。月浦先生から『世のために頑張れ』の一言が今でも脳裏に焼きついていて、恩師への感謝を忘れない。

好奇心が人一倍旺盛だった今野さんは、高校生時代に自転車で真夏の富士山を登った経験を持つ。「登ったというより自転車を担いで富士山頂を踏破した

んですが、実は高校2年生の時に退学処分を受けて、自分の人生をこれで終わりにしたくない」と思って挑戦したんです」と動機を明かす。肩にめり込むような自転車を担いで富士山頂に立った今野さんは、「まだ高校生でしたが、二度立ち止まって考える時間が必要だった」と当時を振り返りながら、長い人生の中で「たとえ順境な時でも、ちょっと立ち止まって冷静に考える時間が必要ですね」と話す。そして、富士山登頂を成し遂げた今野少年は、仙台に戻ると地元新聞に高校の名前と一緒に大きく取り上げられ、月浦校長に「よくやっ」と褒められ復学した。宮城県議会議員として長年の経験を重なる今野さんは、いつも月浦校長の厳しさと優しさを胸に秘め、今日も医療と福祉の充実に取り組む。

Around Japan  
北から南から  
全国83支部116TG会

全国の支部・TG会の活動報告

全国に活動の場を広げる  
TGネットワーク

東北学院文化講演会を開催 —ことばの文化を学ぶ—

地域社会への貢献の一環として平成15年から実施している東北学院文化講演会2010を11月20日（土）13:00から青森市文化会館で開催し、200名を超える青森県民が熱心に聞き入った。

文化講演会は講演1、講演2、トークセッションの3部構成で進められ、最初に本学教養学部の下館和巳教授が「ことばはおいしい—音に宿る魂—」と題して講演した。下館先生は、ダンテの「神曲」を具体例にイタリア・フィレンツェの訛りがダンテを感動させたエピソードを紹介しながら、単語（ことば）を大切にすることが（おいしくしゃべることが）重要で、その地域の文化を伝えるのはその地域の言語（ことば）ですと結んだ。

次に、弘前市在住方言研究家の渋谷伯龍（しづたに はくりゅう）さんが「まみしぐ さがしぐ あずましぐ—あたたかいふる里ことば—」と題して講演した。渋谷さんは、講演の冒頭に自身が東京でタクシーの運転手をしていた時に乗せた乗客が津軽出身であることを直ぐ察した体験談などをユーモラスに紹介し、会場は終始笑いに包まれていた。また、渋谷さんは、津軽弁（ことば）の経過変化について解説し、名もアイヌ語から転化したもの多いことを実例を挙げて解説した。最後に、渋谷さんは、心の中にふる里が残っているの、方言のある国（地域）に生れて良かったと話していた。

第三部は、青森放送取締役ラジオ局長の友友寿郎氏（青森支部副支部長）のコーディネートでトークセッションが進められ、両講師から互いの感想を伺った後に、フロアとの質疑応答で文化講演会を終了した。



東北新幹線全線開業を祝い青森県同窓会を開催

青森県内に組織する4支部合同の同窓会が11月20日（土）午後6時からホテルクラウンパレス青森で盛大に開催された。この同窓会を開催するにあたり、青森支部、弘前支部、八戸支部、上十三支部の代表者で実行委員会を9月中旬に組織し、東北学院文化講演会と青森県同窓会の準備に当たってきた。

青森県同窓会は東北学院らしく讃美歌312番を歌った後、堀米重次郎副委員長（上十三支部長／小松ヶ丘キリスト教教会牧師・昭30文経英卒）が祈禱を捧げて始まった。はじめに、実行委員会を代表して木村克己委員長（青森支部長・昭43経商卒）が「東北学院文化講演会2010は皆さんの協力のお蔭で成功裡に終了することができました。今宵は東北学院に連なる同窓生が支部の垣根を越えて、大いに交流を深めて下さい。また、東北新幹線が12月4日に全線開業します。青森と仙台は一層近くなるので、今度は青森県同窓会として母校を訪ねたい」と挨拶した。

続いて、星宮望同窓会長と文化講演会の講師を務めた渋谷伯龍（しづたに はくりゅう）氏より祝辞を拝受し、藤村重實副委員長（八戸支部長・昭31文経経卒）が乾杯の発声を行い、懇親会に入った。

懇親会では、青森支部の会員で実行委員会のメンバーでもある加藤秋子さん（平13教言卒）と大塚幸子さん（昭60文英卒）のステージが繰り広げられると会場は大盛り上がりだった。また、4支部から提供された豪華景品が当たるお楽しみ抽選会では、会場のおちこちから歓声が上がっていた。そして、会の途中に母校の創立125周年記念事業「募金」が行われ、青森県同窓会実行委員会から星宮会長に募金が贈呈された。

最後に、海老田保夫校友課長（昭44法法卒）のエンターテインメントで校歌を2番まで斉唱し、尾崎善造副委員長（弘前支部長・昭46法法卒）の閉会の挨拶をもって散会した。



東北学院大学

土樋キャンパス

大学院：文学研究科・経済学研究科・経営学研究科  
法学研究科・法務研究科  
学 部：文学部・経済学部・法学部（各3・4年）  
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

多賀城キャンパス

大学院：工学研究科  
学 部：工学部  
〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号  
TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

泉キャンパス

大学院：人間情報学研究科  
学 部：文学部・経済学部・経営学部・  
法学部（各1・2年）・教養学部  
〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号  
TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学校・高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1  
TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号  
TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号  
TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

3L通信編集委員会

委員長	学院長・同窓会長	星 宮 望
副委員長	庶務部長	佐 藤 範 明
委 員	経済学部教授	阿 部 重 樹
	工学部教授	女 川 淳
	中学校・高等学校事務長	鈴 木 義 夫
	榴ヶ岡高等学校事務長	木 村 安 博
	広報部広報課長	折 原 清
	庶務部庶務課長	斎 藤 英 夫
	庶務部校友課長	斎 藤 保 夫
	庶務部校友課長補佐	小 原 武 久
	庶務部校友課係長	増 田 敏

… 編 集 後 記 …

東北学院文化講演会の講師を務めてくださった渋谷伯龍さんから丁寧なお礼の電話をいただいた。昨年4月末、弘前市に渋谷さんを訪ね文化講演会の講師をお願いした時も言葉遣いが大変丁寧だったが、文化講演会が終了し渋谷さんに礼状を送付したことへの返答も大変丁寧だった。その礼状だが、渋谷さんには文面が事務的でなく、温かく心がこもっていたらしい。文化講演会のテーマは「ことばの文化」だったが、電話から聞こえる渋谷さんに倣い、言葉はいつも丁寧と正しく使いたいと思った。

また、今号で紹介した行持院住職の眞壁太隆さんは、駆け込んで来る人を信頼しなければ無条件で受け入れることはできないと話す。眞壁さんが言うように、この信頼関係が稀薄になれば、良い人間関係は築けない。たった一度の人生だからこそ、信頼するより信頼される人間になりたいものである。

■ 支 部

盛岡支部「新春講演交賀会」 日時：1月29日(土) 17:00～ 会場：ホテルメトロポリタン盛岡 連絡先：工藤 090-7323-3722(携帯)
仙台同窓会総会 日時：2月 3日(木) 18:30～ 会場：ホテル仙台ブラザ 連絡先：高橋 080-5223-6600(携帯)
泉支部「新春の集い」 日時：2月 9日(水) 19:00～ 会場：仙台ロイヤルパークホテル 連絡先：大友 022-773-6373(職場)
札幌支部総会 日時：2月18日(金) 18:30～ 会場：ノボテル札幌 連絡先：齋藤 090-3893-4648(携帯)
岩切支部総会 日時：2月19日(土) 15:00～ 会場：岩切東コミュニティセンター 連絡先：高橋 080-5223-6000(携帯)
村田支部設立総会 日時：2月19日(土) 17:00～ 会場：丸幸会館 連絡先：山家 080-5221-8535(携帯)
武蔵野支部総会 日時：2月26日(土) 18:00～ 会場：所沢パークホテル 連絡先：掛地 04-2928-2503(自宅)

■ TG会

仙台青年会議所中高TG会総会 日時：1月25日(火) 18:30～ 会場：○△□ 連絡先：阿部 022-797-2799(職場)
TG地理学同窓会総会 日時：2月12日(土) 15:00～ 会場：ハーネル仙台 連絡先：岩動 022-773-3348(職場)
TGスポーツOB連合会総会 日時：2月18日(金) 18:30～ 会場：仙台サンブラザ 連絡先：中野 022-264-6474(職場)
TG三師会総会 日時：3月12日(土) 17:00～ 会場：ホテル仙台ブラザ 連絡先：高橋 022-227-4884(職場)

■ 会 議

三役会議 日時：2月23日(水) 18:00～ 会場：土樋キャンパス1号館6階「会議室」 3月16日(水) 18:00～ 会場： 同 上 4月13日(水) 18:00～ 会場： 同 上
-------------------------------------------------------------------------------------------------------

常任委員会 日時：3月 8日(火) 11:00～ 会場：仙台国際ホテル 4月19日(火) 11:00～ 会場： 同 上
-------------------------------------------------------------------

代議員会 日時：5月13日(金) 13:15～ 会場：仙台国際ホテル
---------------------------------------

※2010年12月20日までご案内いただいた総会を掲載しています。

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に努めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様のご個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧下さい。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信-Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇ホームカミングデー「懐かしい出会いの夕べ」の案内及び参加費徴収に関わる事務
- ◇各支部TG会などが主催する同窓会総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡下さいようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は、上記の通り慎重に取り扱い、利用目的以外には使用いたしません。特に、「東北学院時報」と「3L通信-Lux Mundi」は、皆様と母校を結び通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会公式ホームページからも行うことができます。